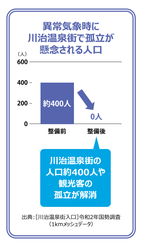
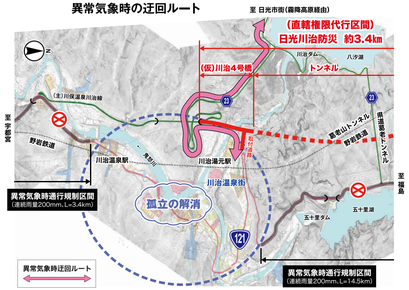
整備効果1　異常気象時における川治温泉街の孤立の解消

国道121号では過去に落石や倒木、土砂流出などの自然災害による通行規制が発生しており、平成27年9月の関東・東北豪雨時には、全面通行止めが発生し川治温泉等が一時孤立状態となりました。

日光川治防災の整備により、日光市街方面への迂回路が形成され、異常気象時における川治温泉街の孤立解消が期待できます。



異常気象時の迂回ルート



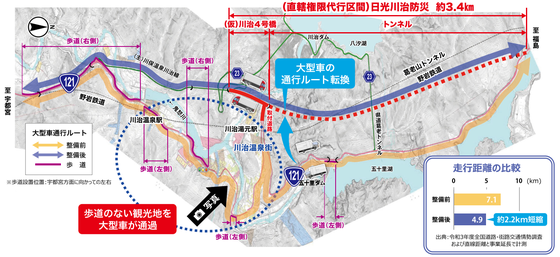
整備効果2　大型車の転換による川治温泉街の歩行者の安全・安心の確保

川治温泉街の国道121号には歩道がなく、大型車が通過する際に歩行者に危険が及ぶなど歩行者の安全性の確保が課題となっています。

日光川治防災の整備により、大型車の通行ルートが転換するなど、川治温泉街における通過交通の減少が期待できます。



大型車の通行ルートの転換



高規格道路　国道121号

一般国道121号は山形県米沢市から福島県会津若松市、栃木県日光市を経由して栃木県宇都宮市、益子町に至る路線です。日光や会津若松など、日本を代表する観光地を連絡します。

栃木県日光市～福島県喜多方市までが高規格道路※に指定されており、栃木県・福島県における縦軸を強化し、地域間交流の促進、都市や産業、観光資源などを有機的に結び、災害時にも信頼性の高いネットワークを構築する道路として計画されています。

※高規格道路：新広域道路交通計画における、国土を縦貫あるいは横断し、全国の主要都市間等を連結して、その時間距離の短縮を図る国土の骨格を支える基幹的な高速度上交通ネットワークとして、高規格幹線道路と地域高規格道路などを一体とした規格の高い道路で、求められるサービスレベルが概ね60km/h以上の道路。

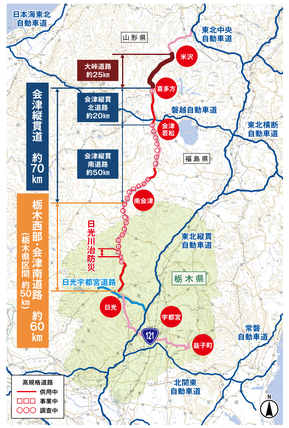




日光　華厳の滝



会津若松　鶴ヶ城(会津若松城)



地理院地図Vector(国土地理院)をもとに作成

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所
〒321-0931　栃木県宇都宮市平松町504
JR宇都宮駅より徒歩20分　宇都宮ライトレール 駅東公園前より徒歩12分
TEL:028(638)2181(代表)
E-mail:ktr-ukoku_hp@mlit.go.jp
https://www.ktr.mlit.go.jp/utunomiya/
宇都宮国道　検索
Xで最新情報を発信中です　https://x.com/mlit_ukoku



2026年3月



国道121号 日光川治防災　事業の概要

国道121号日光川治防災は、自然災害に強いネットワークの確保、走行性の改善及び観光地等における道路利用者の交通安全の確保を目的とした、栃木県日光市西川から栃木県日光市川治温泉滝までの延長約3.4kmの防災対策事業です。

技術的な課題として、新設トンネルが既設トンネル（葛老トンネル、導水トンネル、葛老山トンネル）と交差し近接施工となることが想定されることから、技術的難易度が高い施工となるものと考えられます。このため、施工時の適切なモニタリング手法や既設トンネルへの影響を考慮した工法等の検討を行う必要があります。

日光から会津若松へ（国道121号の道路改良）



国道121号日光川治防災トンネル技術検討委員会

設立趣意書



国道121号日光川治防災については、事業延長約3.4kmのうち、約3.0kmがトンネル区間となっている。

トンネルの施工にあたっては、「近接施工による既設トンネルへの影響」、「湧水によるダム水位への影響及びトンネル施工への影響」、「トンネル施工による大規模崩壊地への影響」といった技術的課題がある。

このため、これらのトンネル計画・施工等に関する課題について、技術的な検討を行うことを目的に、学識経験者等の有識者及び関係機関からなる「国道121号日光川治防災トンネル技術検討委員会」を設置するものである。

以上

❖委員会名簿

委員長	東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 教授
委員	(一社)日本応用地質学会 名誉会員
	東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 助教
	(国研)土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム上席研究員
	宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 准教授
	宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 教授
	(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 所長
	野岩鉄道(株)常務取締役 鉄道部長
	栃木県 県土整備部 交通政策課 課長
	栃木県 県土整備部 日光土木事務所 参事兼所長
	国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所 所長
オブザーバー	日光市 建設部 部長
	国土交通省 関東地方整備局 鬼怒川ダム統合管理事務所 所長

❖委員会開催実績

第1回	令和7年10月8日
第2回	令和8年3月19日

❖これまでの調査・検討結果を踏まえた現状の課題

既設トンネルへの影響	報告	●既設トンネルの情報・位置関係 ●既設トンネルへの近接影響検討結果
	審議	●現状の問題点、解決すべき課題、今後の調査・検討事項(案)
湧水による ダム水位・トンネル施工への 影響	報告	●本トンネル周辺の水文情報 ●湧水に対する止水対策の検討結果 ●ダム水位への影響検討結果
	審議	●現状の問題点、解決すべき課題、今後の調査・検討事項(案)
大規模崩壊地への影響	報告	●大規模崩壊地の概要 ●トンネル掘削による大規模崩壊地への影響検討結果
	審議	●現状の問題点、解決すべき課題、今後の調査・検討事項(案)

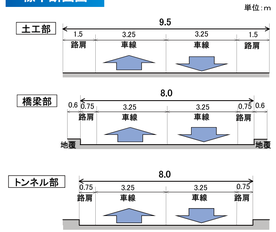
出典：第1回 国道121号日光川治防災トンネル技術検討委員会(R7.10.8)議事概要

平常時も異常気象時も、川治エリアの 安全性と利便性を確保する道路です。

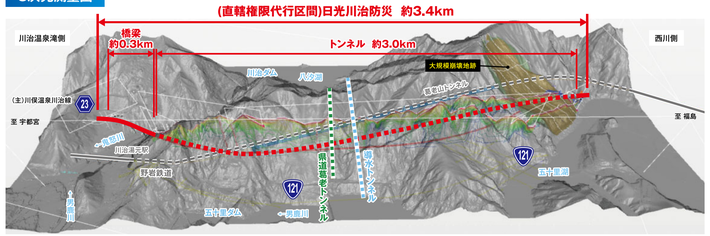
諸元

事業名	国道121号 日光川治防災
区間	日光市西川～日光市川治温泉滝
延長	約3.4km
道路規格	第3種第3級
設計速度	60km/h

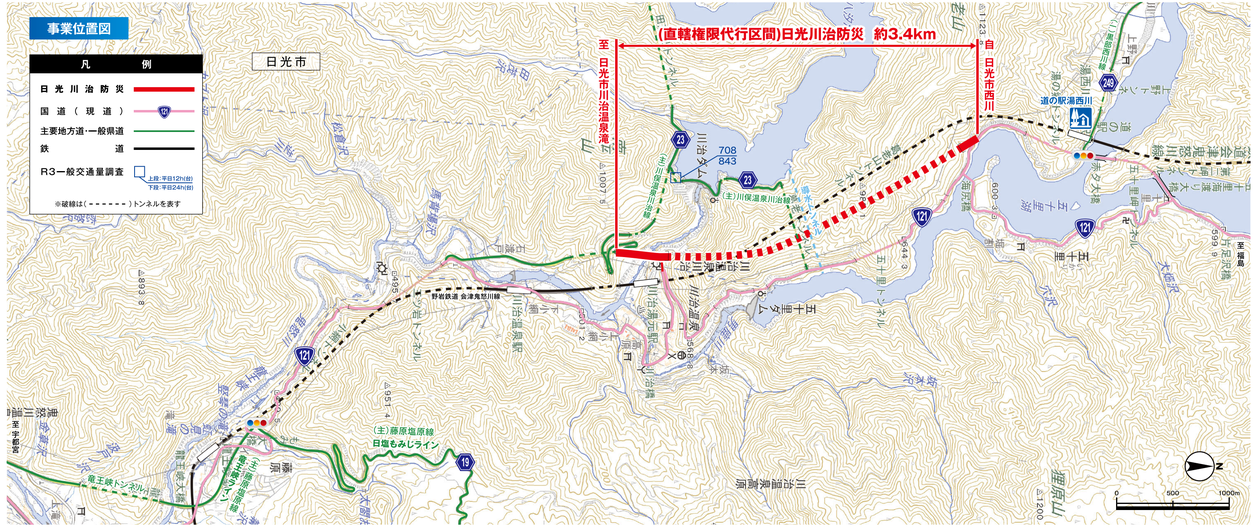
標準断面図



3次元測量図



事業位置図



本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。測量法に基づく国土地理院長承認(複製) R 6JHF 506

施工イメージ図

川治温泉滝側の施工イメージ図



※国有保安林区域： 鬼怒川計画区 国有林野施業実施計画図 川治地区(1/20,000)よりトレース

西川側の施工イメージ図

